

2024 年度
年 次 報 告 書

一般社団法人日本臨床心理士会

東京都文京区本郷二丁目 27 番 8 号

目 次

I. 2024 年度 事業報告書

はじめに	1
1. 委員会活動報告	
(1) 編集委員会	4
(2) 倫理委員会	4
(3) 医療保健領域委員会	5
(4) 産業・組織領域委員会	5
(5) 被害者支援委員会	6
(6) 教育領域委員会	7
(7) 私設心理相談領域委員会	7
(8) 児童福祉・子育て支援委員会	8
(9) 障害者福祉委員会	8
(10) 高齢者福祉委員会	9
(11) 司法矯正領域委員会	9
(12) 支援事業委員会	10
(13) 自死予防専門委員会	10
(14) アディクション専門委員会	11
(15) ひきこもり専門委員会	11
(16) バイオレンス・ハラスメント専門委員会	12
2. プロジェクトチーム活動報告	
(1) 災害支援プロジェクトチーム	13
(2) 研修企画検討プロジェクトチーム	13
(3) 公認心理師制度関連プロジェクトチーム	14
3. 臨床心理講座・研修会開催状況	15
4. 電話相談事業	18
5. ひきこもり家族支援事業	19
6. 雑誌、メールマガジンの発行	20
7. ホームページの利用状況	21
8. 行政機関、他団体・機関への参画	23
9. 後援名義使用承認一覧表	24
10. 団体会員主催研修会等共催承認一覧	26
11. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項	
(1) 代議員会	28
(2) 理事会	28
(3) 常任理事会	29

II. 2024 年度決算報告書

貸借対照表等決算書類	31
------------------	----

役員名簿	45
------------	----

代議員名簿	46
-------------	----

I. 2024 年度事業報告書

はじめに

2024 年度は当会第 5 期前期の 2 年目である。活動は引き続き人々への心理支援の充実と臨床心理士の資質向上を目標としつつ 47 都道府県団体会員との連携をもとに全国組織としての機能を維持してきた。また、会員の 91%が公認心理師資格を取得している状況を踏まえ、公益社団法人日本公認心理師協会（以下、日心協）との連携にも努めた。2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震への支援活動についても日心協と連携し情報共有に努めた。以下に、2024 年度の当会事業の取り組みを報告する。

● 主な取り組み

- ・会員の資質の更なる向上への支援のため、会員からの要望も大きいオンライン研修会の開催を継続した。
- ・当会のこれまでの事業及び各委員会、プロジェクトチーム活動を継続した。
- ・2021 年 1 月に生じた紛争に対応する避難者及びその支援者向けの支援を日心協と共同で継続実施した。なお 2024 年度をもってこれを終了した。
- ・法テラスの靈感商法等対応ダイヤルへの協力を継続した。
- ・ひきこもり家族会支援は当会独自事業として 11 地域で引き続き取り組んだ。また 25 年度に向けて全団体会員にも案内することとした。
- ・会員にとって当会に所属することの意義が引き続き認識されるよう、諸情報の提供、社会貢献活動の継続、当会会員の倫理性の維持向上に資する活動、団体会員が主催する市民の集いへの支援及び研修の充実のために団体会員企画による研修の当会実施を検討し、団体会員に案内した。
- ・オンライン開催が定例化した研修会や諸会議についてその利点と課題を認識しつつ、代議員会や委員会等の一部対面開催も実施に踏み切った。
- ・インターネット上に展開する情報発信や拡散に関する臨床心理士全体への影響についての検討は引き続き課題としている。
- ・宗教カルト相談に関するニーズを受けて、臨床心理士が適切に対応できるためのガイドブックを作成し、会員に提供した。

● 災害支援

- ・2024年1月発災の能登半島地震において、支援本部を設置し、スクールカウンセラー派遣を行った。
- ・能登半島地震により被災した地域の団体会員への支援及び支援に取り組んだ中部ブロックの活動への支援を前年度に引き続き7月まで行った。
- ・災害支援心理士（CPAT）の新たな体制として団体会員の支援活動と整合するよう登録方法等を改定し、周知した。
- ・災害支援活動のための基金として、年度収支差額の一定割合の積み立てを実施することとしており、当年度は前年度繰越額の2割程度を積み立てた。

● 行政、外部団体等の要請への対応

- ・法務省：社会を明るくする運動、人権擁護相談支援、法テラス「靈感商法等対応ダイヤル」に協力した。
- ・文部科学省：スクールカウンセラー制度関連委員会、発達障害ネットワーク会議、海外の日本人学校への支援、能登半島地震被災地へのSC緊急派遣要請に協力した。
- ・こども家庭庁：青少年の非行・被害防止全国強化月間、子供の性被害防止、児童虐待防止、いじめ問題第三者委員会の事業等に協力した。
- ・厚生労働省：健やか親子21、自殺総合対策関連、こころの健康相談統一ダイヤル、ひきこもり支援者支援の計画に協力した。
- ・防衛省及びその他行政、自治体等の求人募集に協力した。
- ・警察庁：犯罪被害者支援等に協力した。
- ・裁判所及びその他行政、自治体等の取り組みに協力した。
- ・公益財団法人国際医療技術財団（JIMTEF）災害医療委員会に引き続き参加し、災害医療研修の実施に協力した。
- ・一般社団法人日本障害者協議会政策委員会に引き続き委員を選出した。
- ・一般社団法人日本発達障害ネットワークに引き続き理事等を選出し、活動に参加した。
- ・チーム医療推進協議会に加盟し連携した。
- ・特定非営利活動法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会の活動に協力した。
- ・その他、公益社団法人日本医師会を事務局とする被災者健康支援連絡協議会、一般社団法人東京経営者協会などの関連諸会議に参画した。

- ・国境なき医師団の国内活動への協力のための協定を結ぶこととした。

● **事務局担当事業の実施及び課題への対応**

- ・ホームページの改修を行い、引き続き事務の効率化を図った。
- ・動向調査（第9回）の報告をホームページに掲載した。
- ・代議員会、理事会、常任理事会、全国団体会員会長懇談会、諸領域担当者会議、各委員会・プロジェクトチーム会議開催の事務を行った。
- ・会議はオンライン開催を充実する等、更なる効率の向上と諸課題の解決に努めつつ、対面会議への要望にも対応した。
- ・会員へのメールマガジンを活用した広報を継続した。
- ・各種研修会等の実施に関する事務及びオンライン開催の円滑な実施に努めた。
- ・想定される災害における取り組みに向けて、引き続き災害支援本部業務を担当する体制を維持した。
- ・日心協事務局との相互協力として、能登半島地震支援、一部の研修会の合同開催、こころの健康相談統一ダイヤル、ウクライナ避難者支援の事業を行った。

なお、各委員会及びプロジェクトチームの活動報告は以下のとおりである。

【会員の動向】

2023年度末会員数	22,410名		
2024年度入会者	698名	退会者	709名
2024年度末会員数	22,399名		

1. 委員会活動報告

(1) 編集委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	江口 昌克	1. 委員会を6回開催した。(5月19日、7月21日、9月8日、12月1日、2月2日、3月9日) 2. 雑誌97号を2024年7月31日に刊行し、8月初旬に会員等に発送した。 3. 雑誌98号を2025年1月31日に刊行し、2月中旬に会員等に発送した。 4. 社会のニーズに応えるため時機を得たテーマを設定・周知した。 5. 当会に所属する意義・メリット(保険等)に関する会員サポート情報等を周知した。 6. 当会雑誌へのアクセシビリティの合理的配慮の必要性について検討を行った。 7. 編集を円滑にすすめるため、出版社と協議し原稿データの共有方法を整備した。
担当役員	徳丸 享	
副委員長	北島 正人	
委員	加藤 真樹子	
委員	小松 周平	
委員	前川 伸晃	
協力委員	小林 千諭	
協力委員	姫島 源太郎	
事務局	松浦 賢一	
事務局	高田 洋之	

(2) 倫理委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	宇田川 一夫	1. 会員の倫理意識の向上のための啓発活動を行う。 (1) 全国の会員の倫理能力の向上と「倫理ガイドライン」の理解を深めるため「倫理担当者向け倫理ワークショップ」を開催する。 (2) 臨床心理講座において倫理に関する講座を開催した。 (3) 団体会員に対し、倫理能力の向上と「倫理ガイドライン」の理解を深めるため、コロナ禍の状況を見て、研修会等の講師を派遣した。 2. 倫理をめぐる相談や苦情及び倫理違反への対応を行う。委員会を4月、7月、9月、12月、2025年2月に開催した。 3. 内外の機関・組織と連携する。 (1) 関連他団体の倫理委員会と連携して対応する。 (2) 倫理問題で当会の他の委員会及び他機関との連携を図る。 4. 倫理規程・綱領の改訂及び倫理ガイドライン、対応指針の見直しを継続的に行う。特にコロナ禍でのWeb活用が進んだ今日、ウェブ活用と倫理問題に関して具体的に検討を進めた。
担当役員	杉江 征	
委員	非公表	
事務局	水谷 孝之	
事務局	法眼 裕子	

(3) 医療保健領域委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	野村 れいか	1. 委員会を3回開催（7月25日（木）、2025年1月28日（火）、2月24日（月祝））した。 2. 前期からの活動（チーム医療関連の活動など）を継続した。 3. 第31回医療保健領域研修会を2025年3月2日（日）にオンラインにて開催した。 4. 2023年度分の第14回団体会員医療保健領域担当者会議を2024年4月21日（日）に実施し、今年度の第15回団体会員医療保健領域担当者会議を2月24日（月祝）に実施した。 5. 当会雑誌・ホームページ等により、会員にとって有益な医療保健領域の情報を発信した。 6. チーム医療関連で、引き続き他医療関連団体との有益な連携、協力体制の強化に努めた。 7. 他の委員会と合同の企画立案による研修は実施できなかった。 8. 臨床心理講座は本年度実施しなかった。 9. 日心協と連携した活動を今年度は実施できなかった。
担当役員	花村 温子	
委員	上島 奈菜子	
委員	江口 聡	
委員	額田 敦史	
委員	渡邊 裕美	

(4) 産業・組織領域委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	山喜 高秀	1. 委員会をオンライン会議にて年間3回開催した（2024年4月14日、7月28日、12月19日）。その他、事業案に対する小委員会を個別的に開催し、メール審議で委員全員にて確認を行った。 2. 研修会を2回実施した。2025年2月11日に第21回産業・組織心理臨床専門研修会、2025年3月9日に臨床心理講座を実施した。 3. 各団体会員への講師派遣について、オンラインと対面にて8回実施した。 4. 団体会員担当者研修会を2024年7月28日に開催した。 5. 関連団体に協力した。（一社）東京経営者協会へ講師派遣および事業協力（適宜）、「こころの耳」委員会へ参加した。 6. 新規取得者のための基礎研修会は実施されなかった。 7. 日本公認心理師協会主催のストレスチェック実施者研修会の実施に協力した。 8. その他、会報誌第97号、第98号へ寄稿した。
担当役員	江口 昌克	
副委員長	坊 隆史	
副委員長	山本 登	
委員	春藤 行敏	
委員	高村 裕子	
委員	楠 無我	
委員	後藤 充	
協力委員	坂井 一史	
協力委員	馬ノ段 梨乃	
協力委員	金山 麻李	

(5) 被害者支援委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	富永 良喜	<p>1. 委員会を2024年4月7日(日)、11月25日(月)に開催した。また、メーリングリストで随時、意見交換を行った。</p> <p>2. 「第26回被害者支援研修会『トラウマインフォームドケアの実装に向けて～対象者・支援者・組織の安全を高める～』」を。2024年12月8日(日)にオンラインにて開催した。</p> <p>3. 「第15回司法矯正領域定例研修会『少年司法における被害者支援と加害者臨床』」の開催に協力し、話題提供を行った。また、それに先立ち、2024年5月19日(日)と7月7日(日)に開催された司法矯正領域委員会に陪席し、研修会に向けた打ち合わせを行った。</p> <p>4. 全国団体会員被害者支援担当者研修会を2025年3月23日(日)に開催した。</p> <p>5. 2024年6月に犯罪被害者等施策推進会議にて決定された「第4時犯罪被害者等基本計画」に基づく「犯罪被害者等施策の一層の推進について」をめぐり、警察庁長官官房犯罪被害者等施策推進課より協力依頼があり、奥村専務理事、徳丸副会長とともに、富永委員長、西脇副委員長が2025年1月9日(木)に懇談を行った。</p>
担当役員	花村 温子	
副委員長	西脇 喜恵子	
委員	齋藤 梓	
委員	高田 紗英子	
委員	樋口 純一郎	
委員	藤代 富広	
委員	森田 ひろみ	

(6) 教育領域委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	高田 晃	<p>1. 委員会の開催（オンライン）6/19, 10/14, 2/5 開催。</p> <p>2. 学校臨床心理士ワーキンググループ活動に協力</p> <p>・第27回学校臨床心理士全国研修会(8/4)、国立京都国際会館</p> <p>3. 各都道府県団体会員教育領域担当者会議（オンライン）（10/14）開催。</p> <p>文部科学省令和5年度いじめ対策・不登校支援等推進事業「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」の報告、「計年度任用職員について学ぶ」、「令和6年能登半島地震の報告」など。</p> <p>4. 省庁主催の会議への出席</p> <p>「中央教育審議会初等中等教育分科会」（6/17, 8/9, 11/13, 1/28）、「教育研究開発企画評価会議」、「教職員のメンタルヘルス対策に関する調査研究事業推進委員会」、こども家庭庁「加藤大臣といじめ調査アドバイザー意見交換会」（8/7）、「いじめ防止対策に関する三原大臣と自治体関係者等との意見交換会」（11/21）、「いじめの重大化要因の分析・検討会議第1回」（1/20）に委員出席（石川）。文部科学省「いじめ防止対策協議会」に委員出席（6/19, 8/23, 3/19）（高田）。文部科学省「児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議」に出席（12/18）（窪田）。文部科学省「こども性暴力防止法を受けたカウンセリング時の環境・録画等について」（12/19 オンライン会議）へ意見を集約して提出。</p> <p>5. 東京都委託事業「令和6年度学校外の子供の多様な学びに関する調査研究事業」を受託し、「こころとからだをひらく」ワークショップによる対人関係力向上への試み～演劇的な手法を取り入れて～を実施した。</p> <p>6. 災害支援PTに協力し、石川県奥能登における学校支援SC緊急派遣を支援する。</p>
担当役員	杉江 征	
副委員長	石川 悦子	
委員	窪田 由紀	
委員	吉村 隆之	
委員	平田 祐太朗	
委員	下田 芳幸	
協力委員	元永 拓郎	
協力委員	中谷 敬明	
協力委員	高野 久美子	

(7) 私設心理相談領域委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	川畑 直人	<p>1. 委員会を2回開催した。もう1回を開催予定。</p> <p>2. 担当者会議を計画し、2025年4月13日に実施した。</p> <p>3. 日本臨床心理士会雑誌に研修会を経て寄稿する予定である。</p> <p>4. 私設心理相談機関の実態を把握し、研修会企画、支援のあり方を検討した。</p> <p>5. その他、私設心理相談領域に関する事項について検討した。</p>
担当役員	徳丸 享	
委員	村上 雅彦	
委員	人見 健太郎	
委員	黒沢 幸子	
委員	小林 菜穂美	
委員	田中 ひな子	

(8) 児童福祉・子育て支援委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	平井 正三	1. 委員会を4回開催した。第1回:3月、第2回:6月、第3回:11月、第4回:25年3月に開催した。 2. 25年1月13日、団体会員担当者研修会を開催した。 3. 2022年度に実施した児童福祉施設心理職連続研修会に関する報告書及びパンフレットを作成作業を行った。会員からの要望に応じて、研修会のやり方についての助言も行った。 4. 9月、同連続研修会の成果を踏まえた自主シンポジウムを日本心理臨床学会において企画し、実施した。 5. 25年度6月開催を目指し、児童福祉・子育て支援専門研修会を企画した。 6. 臨床心理士子育て支援合同委員会に協力した。
担当役員	杉江 征	
副委員長	青木 紀久代	
委員	中垣 真通	
委員	西田 佐希子	
委員	綱島 庸祐	
委員	中沼 早苗	
委員	茂 晃久	
協力委員	ガヴィニオ 重利子	
協力委員	吉沢 伸一	

(9) 障害者福祉委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	花村 温子	1. 委員会を4月14日(日)、8月20日(火)、10月23日(水)、11月3日(日)、2025年1月21日(火)に開催した。また、メーリングリストで随時、意見交換を行った。 2. 「第17回障害の理解と支援に関する研修会『生きづらさを支える心理臨床ーICFと心理臨床での様々な実践を考えるー』」を、2024年11月4日(月・振休)オンラインにて開催した。 3. 特定非営利活動法人日本障害者協議会の総会、政策委員会に中津副委員長を派遣し出席、協力した。 4. 被災地における障害者支援の可能性の検討は、今期は行えなかった。 5. 「福祉は多分野にわたり、また課題も複雑なので、雑誌などで、多様な分野で働く臨床心理士の支援活動について紹介し、研修でも取り上げ、会員のこの領域に対する理解を深める活動を行う」ことの一環として、日本心理臨床学会の自主シンポジウムにエントリーし、10月1日(火)19時15分～の枠で実施、情報交換を行った。
担当役員	徳丸 享	
副委員長	中津 大介	
委員	齊藤 敏子	
委員	与那城 郁子	
委員	松井 健太	
委員	樋口 亜瑞佐	
委員	上田 将史	

(10) 高齢者福祉委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	小林 哲郎	1. 対面委員会1回を含む委員会を3回開催した。 2. 高齢者支援領域で活動する会員向けに、高齢者心理臨床の実践や研究に関する知識や技術向上の獲得を目的としたオンライン研修機会を2回提供した。他領域で活動する心理士も高齢者と関わる機会も多いので、初心者向けの高齢者支援研修会も実施した(2024/7/7, 2025/2/9)。 3. 団体会員が主催する研修会への講師派遣について、理事会の方針に合わせながら、積極的に可能性を検討した。
担当役員	野村 れいか	
副委員長	桑田 直弥	
委員	大庭 輝	
委員	花輪 祐司	
委員	畦地 良平	
委員	川西 智也	
委員	板澤 有幾	
協力委員	樋山 雅美	

(11) 司法矯正領域委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	金子 周平	1. 委員会は6回、被害者支援委員会との共同の定例研修会打ち合わせを1回、オンライン形式で開催した。 2. 第15回司法矯正領域研修会は、オンライン形式で9月21日(土)10:00~16:00に実施した。「少年司法における被害者支援と加害者臨床」のテーマで、被害者支援委員会の全面的協力を得た。午前には、少年の被害と加害をめぐる後藤弘子氏の講演行い、少年司法の変遷から子どもの権利条約を踏まえた対応までが紹介された。午後には心情等聴取・伝達制度の説明、矯正教育、更生保護、そして被害者支援の視点からの4名の話題提供者によるパネルディスカッションを行ない、制度の実際と今後さらに処遇に活かしていく方途、そして被害者に配慮し真意を汲むことの重要性についての議論を行った。 3. 講師派遣事業は、8県の団体会員からの申請を受け、各研修会にオンラインで講師を派遣した。 4. 雑誌98号には「少年司法における被害者支援と加害者臨床」(第15回定例研修会報告)を寄稿した。
担当役員	徳丸 享	
副委員長	遊間 千秋	
委員	里見 聡	
委員	植杉 永美子	
委員	田高 誠	
委員	野村 照幸	
委員	吉田 里日	
協力委員	里見 有功	

(12) 支援事業委員会

メンバー	氏名	2024 年度活動報告
委員長	徳丸 享	<p>1. 委員会を4回開催した。</p> <p>2. 「ひきこもり家族支援セミナー・相談会」は5月21日と10月20日の2回開催した。この活動ではひきこもり専門委員会の協力を得た。</p> <p>3. 「ひきこもり家族グループ」は隔月で6回開催した。(第6回は3月に開催予定)</p> <p>4. ひきこもり家族会支援事業は、団体会員11団体が継続して実施し、10月31日に情報共有会議をオンライン開催した。</p> <p>5. 厚労省事業の進捗を見守り、支援情報交換会開催は見送った。</p> <p>6. 定例電話相談事業は、月～金曜日の夜間(19時～21時)および金曜日午前(9時～12時)に実施した。</p> <p>7. 電話相談研修会を9月14日と3月9日(予定)に実施した。SNS相談研修会は実施しなかった。</p> <p>8. ウクライナの避難者支援は、相談事業を継続した。また、創業を目的とした事業を行なった。創業希望者を対象に全3回のセミナーを行った。日本財団の助成金を受けた。</p> <p>9. 自死予防はこころの健康相談統一ダイヤル、靈感商法等対応ダイヤルは法テラスに協力した。</p> <p>10. 宗教カルト関連心理相談検討ワーキングチームを設置し、7回会議を行い、「宗教カルト関連心理相談ガイド」を作成し、ホームページの会員ページに掲載した。</p>
担当役員	杉江 征	
委員	水谷 孝之	
委員	井利 由利	
委員	奥村 茉莉子	
委員	齋藤 ユリ	
委員	松丸 未来	
委員	河田 幸子	
協力委員	法眼 裕子	

(13) 自死予防専門委員会

メンバー	氏名	2024 年度活動報告
委員長	倉光 修	<p>1. 委員会を Web 会議システムにより、5回開催した。また、2024年度は他の委員会(教育領域委員会、産業・組織領域委員会など)との合同委員会の開催を検討した。</p> <p>2. 自殺予防週間・自殺対策強化月間においては、様々な情報を収集した。</p> <p>3. 関係する官庁や団体などの会議や関係学会に出席し、自死に関する内外の動向を把握し、当会雑誌などを通じて会員へ情報提供した。</p> <p>4. 第11回自死予防研修会を小川有閑氏を招き、オンラインで開催した。</p> <p>5. 臨床心理講座は、最大50人くらいが参加し、実体験を話せるような機会を検討した。</p> <p>6. 今年度は講師派遣の依頼は無かった。</p>
担当役員	杉江 征	
副委員長	大塚 尚	
委員	高井 美智子	
委員	巽 葉子	
委員	三宅 美樹	
委員	藤居 尚子	

(14) アディクション専門委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	信田 さよ子	1.委員会を5/8、7/27、9/20、10/4、1/8、1/19、3/19に開催した。 2.アディクション心理臨床研修会を7/27に開催した。 3.当会雑誌に、本委員会活動やアディクションに関する記事を寄稿した。(97号に飲酒ガイドライン問題、98号に7/27アディクション研修会報告) 4.日本公認心理師協会など関連団体との連携、関連諸学会(日本アルコール関連問題学会およびその地方会、日本公認心理師学会、日本心理臨床学会等)への関与・参加を行う。 5.全国アディクション担当者研修会を1/19に開催し、全国的な啓発と研修、交流を図った。 6.その他、アディクション問題に関する情報収集に努め、必要な対策を検討する。
担当役員	花村 温子	
副委員長	奥田 由子	
委員	厚坊 浩史	
委員	荻野 基介	
委員	齋藤 栄喜	
委員	原國 ゆりこ	
協力委員	平野 学	

(15) ひきこもり専門委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	平野 学	1.委員会を年度内としてはオンラインで6回開催した(5/30、9/5、11/17、12/5、1/15、3/17)。 2.ひきこもり研修会を11/17に(5時間)開催した。 3.臨床心理講座オープンダイアログを6/9に開催した。 4.第5回団体会員担当者研修会を2025年4/20にオンラインで開催した。 5.家族や当事者向け、また支援者向けの広報等に関しては余力がなかった。 6.当会の予算措置等のもと、全国十数カ所の団体会員と共に、特に多くの委員の協力もふまえ、KHJ関連の家族会等での支援に携わった。 7.支援事業委員会等による相談会に協力した。尚、オンラインによる相談会の実施等に関しても検討したが、実現には至らなかった。 8.関係する様々な催しに積極的に参加しつつ、その報告等、互いに委員会内で共有し合い、委員としての研鑽とネットワーク作りに努めた。 9.日心協をはじめ、関係する団体(家族会等)との連携を含め更に行なうべきと考えられることについて検討し合った。尚、委員の1名が厚労省のひきこもり支援にかかるハンドブックの策定関係の委員会に参加した。 10.上記諸活動をふまえ、当会雑誌への寄稿等の形で、情報を提供することにより、会員等のこの領域に対する関心を一層、高めるべく努力した。
担当役員	江口 昌克	
副委員長	齋藤 暢一朗	
委員	境 泉洋	
委員	山下 和彦	
委員	野中 俊介	
委員	土居 和子	
委員	福井 里江	
協力委員	板東 充彦	
協力委員	池 雅之	

(16) バイオレンス・ハラスメント専門委員会

メンバー	氏名	2024年度活動報告
委員長	岩倉 拓	1. 委員会を4回行った。 2. 研修会を2回開催 【研修会】第5回 バイオレンス・ハラスメント専門研修会「バイオレンス・ハラスメント防止最前線 ①女性に対する暴力について」 【研修会】第6回 バイオレンス・ハラスメント専門委員会研修会 バイオレンス・ハラスメント防止最前線② 性暴力被害者の語りから支援を考える 3. ハラスメント宣言試案を作成 4. ハラスメント相談窓口の設定に向けて会員向けのアンケートの試案を常任理事会に提出
担当役員	奥村 茉莉子	
委員	信田 さよ子	
委員	古賀 絵子	
委員	佐藤 紀代子	
委員	高橋 哲	
委員	山内 浩美	
委員	佐々木 浩介	
協力委員	岡田 裕子	
協力委員	西井 開	

2. プロジェクトチーム活動報告

(1) 災害支援プロジェクトチーム

メンバー	氏名	2024年度活動報告
代表	奥村 茉莉子	1. 会議は日本士会と日心協の委員会の合同会議として13回実施した。 2. 2024年9月8日に災害支援担当者研修会をオンラインで実施した。 3. 講師紹介は要請に応じて対応している。 4. 災害支援ブロックの活動への支援は要請に応じて実施した。特に能登半島地震においては文科省や石川県教育委員会、石川県士会、中部ブロックとの連携で実施し、さらに年度内継続した。 5. 大災害への支援体制整備を検討。国境なき医師団からの要請について協議した。 6. CPATの募集要項を検討し、確定した内容で募集した。年度内に顔合わせ研修を実施した。 7. 記録様式については能登半島地震において愛知の様式を活用した。 8. JIMTEF研修には引き続き協力している。 9. 能登半島地震への支援は中長期に向けてバックアップを継続する。
担当役員	江口 昌克	
副代表	池田 美樹	
委員	池 雅之	
委員	小俣 和義	
委員	鈴木 正貴	
委員	樋口 純一郎	
協力委員	小林 哲郎	
協力委員	杉江 征	
協力委員	金子 周平	

(2) 研修企画検討プロジェクトチーム

メンバー	氏名	2024年度活動報告
代表	杉江 征	1. 研修やスーパービジョン等に関する会員を対象としたアンケートを実施することはできなかったが、臨床心理講座や委員会主催の講座などのアンケート結果を分析し、検討を行った。以前に実施されていた定例研修会もコロナ禍後には実施形式が異なっており、改めて、研修全体の在り方を検討し、研修体系を整理した。そして、団体会員企画研修の導入と実施方法について検討を行った（見込み）。 2. 研修企画検討PT研修会としてスーパービジョンに関する研修会「スーパービジョン事始めーヴァイジーの成長を支えるSVの実践」を開催した。 3. オンライン研修の実施方法などに関する検討を行った。
担当役員	野村 れいか	
副代表	藤澤 美穂	
委員	奥村 茉莉子	
委員	宮崎 昭	
委員	伊藤 宗親	
委員	磯邊 聡	

(3) 公認心理師制度関連プロジェクトチーム

メンバー	氏名	2024年度活動報告
代表	野島 一彦	1. 会議を9回開催した。 2. 臨床心理士と公認心理師を取り巻く様々な状況についての情報収集と分析を行い、それらを当会雑誌等で会員に報告した。 3. 日心協を引き続きサポートするとともに、棲み分けも考えながら連携を深めた。 4. 臨床心理士と公認心理師の質の向上のために、他団体との連携も視野に入れて生涯研修システムを構築するよう、さらに検討を継続した。 5. 臨床心理士と公認心理師の雇用を増やすような職域拡大について、情報交換を行いながら、さらに検討を継続した。 6. 日心協の「専門認定制度」の推進のために協力した。 7. 政治団体について、情報を収集しつつ、対応を検討した。 8. 心理専門職の職能団体の連合体設立を模索した。
担当役員	奥村 茉莉子	
副代表	平野 学	
委員	淵上 奈緒子	
委員	矢島 潤平	
委員	舘野 一宏	
協力委員	下山 晴彦	
協力委員	元永 拓郎	

3. 臨床心理講座・研修会等開催状況

(1) 臨床心理講座

日程	講座	講師(敬称略)	参加者
2024年4月27日(土)	発達が気になる乳幼児への関わり方・園でできる支援とは【Ⅰ】	黒澤礼子	285
2024年5月11日(土)	明日から使えるゲーム行動症・インターネット依存の心理臨床	三原聡子	202
2024年5月25日(土)	実践的子どもの認知行動療法 [初中級]	松丸未来	137
2024年6月9日(日)	オープンダイアログ入門	福井里江、岡本和子、三ツ井直子、村井美和子	98
2024年6月15日(土)	発達が気になる乳幼児への関わり方・園でできる支援とは【Ⅱ】	黒澤礼子	491
2024年8月3日(土)	日本版 WISC-V 知能検査の活用 —実践編—	大六一志	490
2024年9月14日(土)	包括的性教育のポイント ～心理士としてできる予防的介入	高山恵子	150
2024年9月23日(月祝)	日本版 WISC-V 知能検査の活用 —紹介編—	大六一志	494
2024年10月5日(土)	発達障害の可能性のある子どもの不登校への理解と具体的な支援	黒澤礼子	290
2024年11月9日(土)	法と心理が交錯する中での倫理	倫理委員会	60
2025年2月1日(土)	カルト問題と弁護士	紀藤正樹、平野学	158
2025年3月9日(日)	産業領域の心理臨床で役立つ法律・制度の基礎と実践	坊隆史、山本登、春藤行敏、馬ノ段梨乃	86
2025年3月15日(土)	グレーゾーンを含む発達障害のある女性の支援 ～ADHD と ASD～	高山恵子	154
合計 13 講座			3,095 名

(2023年度 20講座 2,962名)

(2) 定例研修会

日程	研修会	参加者
2024年7月7日(日)	第23回 高齢者支援研修会 「ゼロから始める高齢者心理臨床」	280
2024年7月27日(土)	第12回 アディクション心理臨床研修会 「アディクションと家族支援～アルコール依存症を中心に～」	246
2024年9月1日(日)	第5回 バイオレンス・ハラスメント専門研修会「バイオレンス・ハラスメント防止最前線女性に対する暴力について」	239
2024年9月21日(土)	第15回 司法矯正領域定例研修会 『少年司法における被害者支援と加害者臨床』	123
2024年9月28日(土)	第11回 自死予防研修会 「私と自死－臨床心理士として、個人として自死をいかにとらえるか」	100
2024年11月3日(日)	災害支援合同研修会 『災害時の心理支援の基礎と実際－災害初期～中長期支援まで能登半島地震災害支援を中心に』	142
2024年11月4日(月祝)	第17回 障害の理解と支援に関する総合研修会 『生きづらさを支える心理臨床－ICFと心理臨床での様々な実践を考える－』	148
2024年11月17日(日)	第8回 ひきこもり研修会 『ひきこもりの理解、そして支援をめぐって』	156
2024年12月8日(日)	第26回 被害者支援研修会 『トラウマインフォームドケアの実装に向けて～対象者・支援者・組織の安全を高める～』	281
2025年1月12日(日)	第3回 研修企画検討PT研修会 『スーパーヴィジョン事始め-ヴァイジーの成長を支えるSVの実践』	146
2025年1月26日(日)	第6回 バイオレンス・ハラスメント専門研修会 「バイオレンス・ハラスメント防止最前線② 性暴力被害者の語りから支援を考える」	270
2025年2月9日(日)	第24回 高齢者支援研修会 『人生100年時代の高齢者のパーソナリティ理論とアセスメント』	262
2025年2月11日(火祝)	第22回 産業・組織心理臨床専門研修会	120
2025年3月2日(日)	第31回 医療保健領域研修会 『心的外傷を抱えたクライアントに対する治療と心理支援の実際』	184
合計 14 研修会		2,697 名

(2023年度 14 研修会 2,162名)

(3) 団体会員担当国会議・研修会

日程	担当国会議・研修会	参加者
2024年7月28日(日)	産業・組織領域担当者研修会	57
2024年9月8日(日)	全国災害支援担当者国会議	98
2024年10月14日(月祝)	教育領域担当者国会議	56
2025年1月13日(月祝)	児童福祉担当者研修会	63
2025年1月19日(日)	第2回アディクション担当者研修会	56
2025年2月23日(日)	倫理担当者国会議	57
2025年2月24日(月祝)	第15回医療保健領域担当者国会議	55
2025年3月23日(日)	被害者支援担当者研修会	54
2025年4月13日(日)	私設心理相談領域担当者国会議	53
2025年4月20日(日)	「第5回ひきこもり担当者研修会」	60

(4) その他研修会

日程	研修会	参加者
2025年3月30日(日)	2024年度 CPAT 研修	122

4. 電話相談事業

○ 定例電話相談

【実施日時】

午前（9：00～12：00）：金曜日

夜間（19：00～21：00）：月曜日～金曜日

【月別受電件数】

上期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	
午前	43	40	43	37	39	42	244	
夜間	120	127	105	115	114	130	711	
計	163	167	148	152	153	172	955	
下期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	2024年度計
午前	43	45	31	30	38	40	227	471
夜間	111	117	121	136	107	129	721	1,432
計	154	162	152	166	145	169	948	1,903
							月平均	159

【参考】2023年度 2,048件（月平均：171件）2022年度 1,676件（月平均：140件）

○ 電話相談員SV研修会

1. 日 時：第1回：2024年9月14日（土）18時00分～20時00分
第2回：2025年3月9日（日）18時00～20時30分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室
3. 対象者：電話相談員として登録している者
4. 講 師：徳丸 享（副会長・立正大学）

5. ひきこもり家族支援事業

(1) ひきこもり家族会支援

前年度に引き続き、KHJ（全国ひきこもり家族会連合会）からの協力依頼を受けて、北海道、山形、福島、東京、静岡、大阪、広島、高知、福岡、宮崎、沖縄の11団体会員と協働し、各地域のひきこもり家族会への支援を実施した。

(2) ひきこもり家族支援セミナー・相談会

○ 第12回 個別相談会のみ開催

開催日：2024年5月12日（日）

次第：13:00～15:00 個別相談会

○ 第13回 個別相談会のみ開催

開催日：2024年10月20日（日）

次第：13:00～15:00 個別相談会

(3) ひきこもり家族グループ

第1回	2024年5月27日（月）
第2回	2024年9月30日（月）
第3回	2024年11月25日（月）
第4回	2025年1月27日（月）
第5回	2025年3月24日（月）

※7月は参加者が集まらず中止

次第：ミニ・レクチャー
グループ懇談

6. 雑誌、メールマガジンの発行

(1) 雑誌

号数	発行日	主要掲載記事
97号	2024年7月31日	特集—対話にもとづく倫理と臨床 社会規範の変化と倫理のアップデート 職業倫理を実践する 倫理観の共有をめぐって 『ここは今から倫理です。』倫理は対話 諸領域の動向と諸課題の取り組み 東西南北—47都道府県団体会員めぐり 福島県臨床心理士会 愛知県臨床心理士会 (一社) 奈良県臨床心理士会 沖縄県公認心理師協会
98号	2025年1月31日	特集—心理臨床における「知」の融合 心理職の訓練における専門知と実践知 スーパービジョン文化の醸成 社会のニーズと心理臨床 AIと人のこころ 諸領域の動向と諸課題の取り組み 東西南北—47都道府県団体会員めぐり (一社) 茨城県公認心理師協会 (一社) 東京公認心理師協会 山口県公認心理師協会 香川県臨床心理士会

(2) メールマガジン

No.	発行日	主要掲載記事
97	2024年4月16日	1. 当会からのお知らせ ・スクールカウンセラーの選考に関する要望書を文部科学省初等中等教育局児童生徒課長宛に提出しました。 ・当会主催の研修会・臨床心理講座 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
98	2024年5月15日	1. 当会からのお知らせ ・当会主催の研修会・臨床心理講座 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
99	2024年6月12日	1. 当会からのお知らせ ・当会主催の研修会・臨床心理講座 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
100	2024年7月2日	期間限定図書販売のご案内
101	2024年7月11日	1. 当会からのお知らせ ・文部科学省 令和5年度いじめ対策・不登校支援等推進事業『スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究報告書』を資料集に掲載しました。 ・期間限定図書販売のご案内 ・当会主催の研修会・臨床心理講座 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
102	2024年8月8日	1. 当会からのお知らせ ・第9回「臨床心理士の動向調査」報告書をホームページに掲載しました。 ・期間限定図書販売のご案内 ・当会主催の研修会・臨床心理講座 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
103	2024年8月23日	期間限定図書販売のご案内

No.	発行日	主要掲載記事
104	2024年9月5日	1. 当会からのお知らせ ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
105	2024年9月26日	1. 当会からのお知らせ ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座 ・ 【東京公認心理師協会】令和7年度以降の会計年度任用職員の選考に関する要望書について 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
106	2024年10月4日	1. 当会からのお知らせ ・ 事務局より【お詫びとお知らせ】日本臨床心理士会雑誌97号の原稿掲載漏れについて
107	2024年10月17日	1. 当会からのお知らせ ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座 ・ 【東京公認心理師協会】令和7年度以降の会計年度任用職員の選考に関する要望書について 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
108	2024年11月13日	1. 当会からのお知らせ ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座 ・ 【東京公認心理師協会】令和7年度以降の会計年度任用職員の選考に関する要望書について 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
109	2024年12月12日	1. 当会からのお知らせ ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座 ・ 【東京公認心理師協会】令和7年度以降の会計年度任用職員の選考に関する要望書について 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等

No.	発行日	主要掲載記事
110	2025年1月8日	1. 当会からのお知らせ ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座 ・ 当会推薦 映画「港に灯がともる」1月17日公開 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
111	2025年1月15日	1. 当会からのお知らせ ・ 「総合補償制度」のご案内 ・ 期間限定心理学書特別販売のご案内 ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座 2. 研修情報等
112	2025年2月5日	1. 当会からのお知らせ ・ 【事務局連絡】資格を更新されない方、または返上される方へ ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
113	2025年2月7日	・ 期間限定心理学書特別販売のご案内
114	2025年2月27日	・ 期間限定心理学書特別販売のご案内
115	2025年3月5日	1. 当会からのお知らせ ・ 【事務局より】年度会費請求のご案内について ・ 「臨床心理士のための宗教カルト関連心理相談ガイド」を会員ページ「各調査結果等資料集」に掲載 ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等

7. ホームページの利用状況

(1) 『臨床心理士に出会うには』都道府県別掲載件数

整理番号	都道府県	掲載件数	整理番号	都道府県	掲載件数
1	北海道	12	25	滋賀	3
2	青森	0	26	京都	22
3	岩手	1	27	大阪	42
4	宮城	2	28	兵庫	31
5	秋田	1	29	奈良	10
6	山形	2	30	和歌山	2
7	福島	3	31	鳥取	0
8	茨城	3	32	島根	2
9	栃木	5	33	岡山	7
10	群馬	9	34	広島	13
11	埼玉	32	35	山口	4
12	千葉	19	36	徳島	2
13	東京	164	37	香川	3
14	神奈川	37	38	愛媛	2
15	山梨	3	39	高知	1
16	長野	6	40	福岡	11
17	新潟	3	41	佐賀	1
18	富山	0	42	長崎	2
19	石川	5	43	熊本	3
20	福井	1	44	大分	2
21	岐阜	3	45	宮崎	1
22	静岡	12	46	鹿児島	3
23	愛知	25	47	沖縄	1
24	三重	1	48	その他	10
				掲載件数	527

(2) ホームページ求人情報掲載状況
(2024年4月～2025年3月掲載)

領域	機関の種類	機関数 (延べ数)
保健医療	病院・診療所	123
	精神保健福祉センター・保健所・保健センター	10
	保健医療関係その他	11
福祉	児童福祉施設・機関(児童相談所含む)	55
	障害者福祉施設・機関	9
	女性者福祉施設・機関	2
	福祉関係その他	11
教育	公立教育相談機関・教育委員会	35
	幼稚園・小学校・中学校・高校・予備校	17
	各自治体から派遣 SC	37
	教育関係その他	3
大学・研究所	専門学校・短大・大学等(主に教育・研究)	8
	専門学校・短大・大学等(主に相談業務)	70
	研究所・研究機関	23
司法法務 警察 防衛	法務省(矯正保護)関係機関	0
	司法法務警察関係	3
	自衛隊	3
産業労働	独立の健康管理・相談所	6
	産業労働関係	26
私設心理相談	民間心理相談機関	126
合 計		578

8. 行政機関、他団体・機関への参画

(1) 行政機関

府 省	組 織	役職等
法 務 省	「社会を明るくする運動」中央推進委員会	委 員
文部科学省	いじめ防止対策協議会	委 員
	不登校に関する調査研究協力者会議	委 員
	特別支援教育ネットワーク推進委員会	構成員
こども家庭庁	こどもの性被害撲滅対策推進協議会	構成団体
厚生労働省	健やか親子21（第2次）推進協議会	参画団体
	【委託事業】「こころの耳」委員会 (受託者：社団法人産業カウンセラー協会)	委 員

(2) 他団体・機関

団 体・機 関		役職等
一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDDnet）		代議員
		理 事
	多職種連携委員会	委 員
特定非営利活動法人日本障害者協議会（JD）		正会員
	政策委員会	委 員
公益社団法人全国精神保健福祉連合会（みんなネット）		会 員
チーム医療推進協議会（事務局：公益社団法人日本診療放射線技師会）		代議員
被災者健康支援連絡協議会（事務局：公益社団法人日本医師会）		構成団体
公益財団法人国際医療技術財団	医療関連職種団体協議会	構成団体
特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会		賛助会員
一般社団法人東京経営者協会		相談担当者
		セミナー講師
臨床心理士関係三団体（公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会・一般社団法人日本心理臨床学会・当会）	学校臨床心理士ワーキンググループ	委 員
	子育て支援合同委員会	委 員

9. 後援名義使用承認一覧表

承認日順

No.	主催団体等	日程・名称・テーマ
1	日本カウンセリング学会第56回大会大会準備委員会	2024. 7. 28 日本カウンセリング学会第56回大会
2	日本周産期精神保健研究会	2025. 4. 26～27 第5回日本周産期精神保健研究会
3	大阪府臨床心理士会	2024. 8. 4 第7回公開講座「高齢者と家族を支える心理学～最新の老年心理学より～」
4	日本精神障害者リハビリテーション学会第31回東京お台場大会	2024. 12. 14～15 日本精神障害者リハビリテーション学会第31回東京お台場大会
5	日本老年臨床心理学会	2024. 11. 15～16 日本老年臨床心理学会第7回大会
6	公益社団法人全国被害者支援ネットワーク	2024. 10. 18 全国犯罪被害者支援フォーラム2024
7	日本病院・地域精神医学会	2024. 11. 30～12. 1 第67回日本病院・地域精神医学会総会兵庫大会
8	公益社団法人全国精神保健福祉連合会	2024. 10. 12 第16回全国精神保健福祉家族大会（みんなねっと北海道大会）
9	きょうされん	2024. 11. 8～9 きょうされん第47回全国大会 in しが
10	全国クレサラ・生活再建問題対策協議会	2024. 11. 16 第43回全国クレサラ・生活再建問題被害者交流集会 in 大阪
11	厚生労働省社会・援護局	2024. 10. 7～13 第71回精神保健福祉普及運動及び第71回精神保健福祉全国大会
12	日本デイケア学会第29回兵庫大会	2024. 12. 7～8 日本デイケア学会第29回兵庫大会
13	日本集団精神療法学会第42回大会	2025. 3. 22～23 日本集団精神療法学会第42回大会
14	一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会	2024. 11. 22～23 日本キャリア・カウンセリング学会第29回大会
15	第38回日本エイズ学会学術集会・総会	2024. 11. 28～30 第38回日本エイズ学会学術集会・総会
16	日本子ども虐待防止学会第30回学術集会かがわ大会実行委員会	2024. 11. 30～12. 1 日本子ども虐待防止学会第30回学術集会かがわ大会
17	一般社団法人日本発達障害ネットワーク	2024. 11. 3 JDDnet セミナー in えひめ2024 <共催>
		2024. 12. 21 2024年度JDDnet第20回記念年次大会
18	集団認知行動療法研究会	2024. 12. 1 第15回集団認知行動療法研究会学術総会
19	健康生きがい学会	2024. 11. 9 健康生きがい学会第14回大会
20	第11回日本小児診療多職種研究会	2025. 3. 8～9 第11回日本小児診療多職種研究会
21	公益財団法人日本精神衛生会	2025. 3. 8 メンタルヘルスの集い（第39回日本精神保健会議）

No.	主催団体等	日程・名称・テーマ
22	包括システムによる日本ロールシャッハ学会第30回徳島大会	2025.7.5～6 包括システムによる日本ロールシャッハ学会第30回徳島大会
23	HIV感染症の医療体制整備に関する研究	2024.12.11 第1回HIV感染症患者の療養支援に関する心理職とMSWの協働シンポジウム
24	よこはま乳がん学校	2025.1.11～3.31 第14期よこはま乳がん学校
25	一般社団法人日本小児神経学会	2025.2.9 第19回子どものこころのプライマリケア・セミナー
26	PRCP&WACP Joint Congress 2025 Tokyo	2025.9.25～28 PRCP&WACP Joint Congress 2025 Tokyo
27	国際集団精神療法・集団過程学会	2025.8.20～23 第22回国際集団精神療法・集団過程学会
28	日本GI（性別不合）学会	2025.3.15～16 日本GI（性別不合）学会第26回研究大会
29	第39回日本エイズ学会学術集会・総会	2025.12.5～7 第39回日本エイズ学会学術集会・総会
30	公益社団法人日本理学療法士協会	2025.5.31～6.01 第60回日本理学療法学術研修大会
31	日本精神障害者リハビリテーション学会 第32回札幌大会	2025.10.25～10.26 日本精神障害者リハビリテーション学会 第32回札幌大会
32	一般社団法人静岡県公認心理師協会	2025.6.22 心理学の学びと心理職のお仕事
33	特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構	2025.3.22 リカバリー全国フォーラム2024
34	一般社団法人日本摂食障害協会	2025.6.01 世界摂食障害アクションデイ 2025

10. 団体会員主催研修会等共催承認一覧

No.	団体会員	日程・名称
1	東京公認心理師協会	2024. 5. 12 2024 年度全体会・地域会
2		2024. 7. 7 子育て電話相談の基本
3		2024. 7. 7 発達障がいのある子どもへの福祉心理支援
4		2024. 7. 14 新転入者のための研修会
5		2024. 7. 28 サイコロジカル・ファーストエイド学校版 一日研修
6		2024. 7. 28 相談技能向上のための研修会「自死予防としての相談活動と、心理職が知っておきたい法律知識」
7		①2024. 9. 14②2024. 10. 26③2024. 11. 16④2024. 12. 21⑤2025. 1. 25 ⑥2025. 2. 22⑦2025. 3. 15 産業領域 SV 技能習得講座
8		2024. 9. 16 親子並行面接における親面接について考える
9		2024. 10. 14 交流研修会「心理職が行うケースマネジメントを考える」
10		2024. 11. 17 日常にひそむハラスメント～心理職としてどうかかわるか～
11		2024. 12. 22 「子どものための心理的応急処置」 1 日研修会
12		① 2025. 1. 26②2025. 2. 2 SC 研修会（入門コース）
13		2025. 2. 2 WISC-V の解釈と所見の書き方～事例を通して～
14		2025. 2. 23 医療保健領域における心理職のケースマネジメント～制度から実践まで～
15		2025. 2. 24 子育て支援ネットワーク研修会「学習障害の気づきと支援」
16		2025. 3. 1 ひきこもり家族会支援に心理職はどのように関わるか
17		2025. 3. 9 事例で学ぶ倫理基礎研修会

No.	団体会員	日程・名称
18	静岡県公認心理師協会	2024. 5. 12 新入会者研修
19		2024. 6. 23 令和6年度大会・総会「多様性をつながり～心理支援と社会～」
20		2024. 7. 7 基礎研修 I
21		2024. 7. 21 教育・学校臨床委員会研修
22		2024. 9. 8 発達障害のアセスメントと支援について
23		2024. 10. 6 多職種の中で心理職ができること～チーム臨床における安心感への貢献～
24		2025. 1. 13 医療・保健領域委員会研修
25		2025. 2. 9 基礎研修Ⅱ 事例でたどる心理支援～子ども編～
26		山口県公認心理師協会
27	2024. 7. 28 2024年度第2回全体研修会「学校緊急支援の理論と実際」	
28	2024. 10. 14 2024年度第3回全体研修会「発達障害の子どもが生き抜いていく支援とは？」	
29	2025. 1. 26 2024年度第4回全体研修会「公認心理師に求められるヤングケアラーの基礎知識」「子ども家庭支援における包括的アセスメント」	
30	2025. 2. 16 2024年度第5回全体研修会「離婚紛争と子ども 一家事司法の場での関与と課題」	

1 1. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項

(1) 代議員会

① 第5期第2回(定時)代議員会

1. 日 時：2024年6月23日(日)午後1時00分～4時00分
2. 場 所：ベルサール神田(千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル3階)
3. 議 案：
第1号議案 2023年度事業報告並びに同決算報告(案)承認の件

本代議員会の開催、運営については、3月10日に開催された第5期前期第6回理事会において審議した結果、対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、オンライン出席者については当日オンライン投票により、欠席者については一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第51条に定める書面による議決権行使により議案を審議することが決議された。

開催当日は、代議員総数92名のうち出席代議員数は、86名(議決権行使書及び委任状出席を含む)であった。また、40名はWEB会議システムによる出席であった。

なお、今回唯一の審議事項である2023年度事業報告並びに同収支決算報告について、専務理事、事務局より説明され、片岡監事より監査結果が適正であったことが報告された。その後10名の代議員から質問があり質疑応答の後、出席者の承認者数に議決権行使書の承認者数を加え、賛成多数をもって承認された。

その後、2024年度事業計画並びに同収支予算について報告された後、能登半島地震への対応についていずれも専務理事より報告がなされ議事が終了した。

(2) 理事会

① 第5期前期第7回理事会

1. 日 時：2024年5月15日(水)午後7時00分～8時15分
2. 場 所：Web会議システムにより開催
3. 議 案：
第1号議案 2023年度事業報告(案)承認の件
第2号議案 2022年度決算報告(案)承認の件
第3号議案 第5期第2回(定時)代議員会の議題等の件

② 第5期前期第8回理事会

1. 日 時：2024年11月24日(日)午前11時00分～11時50分
2. 場 所：Web会議システムにより開催
3. 議 案：
第1号議案 ひきこもり家族会支援事業の2025年度実施案の件
第2号議案 第5期後期役員選挙の選挙管理委員選出の件
第3号議案 2025年3月1日付事務局職員の採用の件

③ 第5期前期第9回理事会

1. 日 時：2025年3月13日（水）午後7時30分～9時30分
2. 場 所：Web会議システムにより開催
3. 議 案：
 - 第1号議案 2025年度事業計画及び予算の件
 - 第2号議案 支出規程の改定と研修会参加費の変更の件
 - 第3号議案 団体会員企画研修会実施の件
 - 第4号議案 第5期第3回定時代議員会の招集の件
 - 第5号議案 役員賠償責任保険の更新の件

上記のとおり開催し、すべての議案が承認された。

(3) 常任理事会

※すべてWeb会議システムにより開催

- ① 第5期前期第8回常任理事会：2024年4月29日(日)午後5時00分～8時30分
- ② 第5期前期第9回常任理事会：2024年6月9日(日)午後7時00分～9時30分
- ③ 第5期前期第10回常任理事会：2024年9月4日(水)午後7時30分～10時00分
- ④ 第5期前期第11回常任理事会：2024年10月21日(月)午後7時30分～9時40分
- ⑤ 第5期前期第12回常任理事会：2024年11月19日(火)午後7時30分～9時30分
- ⑥ 第5期前期第13回常任理事会：2025年3月4日(火)午後7時30分～10時35分

2024年度決算報告書

貸借対照表

正味財産増減計算書

財産目録

収支計算書

一般社団法人日本臨床心理士会

貸借対照表

2025年03月31日現在

(単位：円)

科目	2024年度末	2023年度末	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	225,999	126,018	99,981
普通預金	275,771,671	323,396,743	▲47,625,072
定期預金	100,000,000	0	100,000,000
郵便振替貯金	14,411,644	33,517,192	▲19,105,548
現金預金合計	390,409,314	357,039,953	33,369,361
(2) その他流動資産			
未収金	1,300,443	0	1,300,443
その他流動資産合計	1,300,443	0	1,300,443
流動資産合計	391,709,757	357,039,953	34,669,804
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	1,613,000	1,380,000	233,000
選挙関係引当金積立資産	7,000,000	3,500,000	3,500,000
建物附属設備準備資産	50,000,000	50,000,000	0
特別災害時支援引当資産	76,000,000	68,000,000	8,000,000
特定資産合計	134,613,000	122,880,000	11,733,000
(2) その他固定資産			
建物附属設備	5,250,000	5,250,000	0
建物附属設備減価償却累計額	▲3,869,250	▲3,517,500	▲351,750
器具備品	30,857,510	31,047,741	▲190,231
器具備品減価償却累計額	▲22,332,889	▲18,159,696	▲4,173,193
敷金	8,982,400	8,982,400	0
その他固定資産合計	18,887,771	23,602,945	▲4,715,174
固定資産合計	153,500,771	146,482,945	7,017,826
資産合計	545,210,528	503,522,898	41,687,630
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,131,923	5,669,626	▲4,537,703
仮受金	0	13,000	▲13,000
預り金	557,415	1,421,725	▲864,310
流動負債合計	1,689,338	7,104,351	▲5,415,013
負債合計	1,689,338	7,104,351	▲5,415,013
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
民間助成金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	543,521,190	496,418,547	47,102,643
(うち特定資産への充当額)	(134,613,000)	(122,880,000)	11,733,000
正味財産合計	543,521,190	496,418,547	47,102,643
負債及び正味財産合計	545,210,528	503,522,898	41,687,630

正味財産増減計算書

2024年04月01日から 2025年03月31日まで

(単位：円)

科目	2024年度	2023年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
受取会費	182,734,000	169,455,000	13,279,000
受取会費計	182,734,000	169,455,000	13,279,000
研修会事業収益			0
研修会事業収益	8,156,000	6,466,000	1,690,000
研修会事業収益計	8,156,000	6,466,000	1,690,000
臨床心理講座事業収益			0
臨床心理講座収益	8,745,000	8,774,000	▲29,000
臨床心理講座事業収益計	8,745,000	8,774,000	▲29,000
検索システム収益			0
検索システム収益	1,547,000	1,704,000	▲157,000
検索システム収益計	1,547,000	1,704,000	▲157,000
受取補助金			0
受取補助金	0	2,992,800	▲2,992,800
受取助成金	7,812,000	7,941,873	▲129,873
受取補助金計	7,812,000	10,934,673	▲3,122,673
業務受託収益			0
電話相談事業収益	300,000	0	300,000
その他業務受託収益	3,265,603	0	3,265,603
業務受託収益計	3,565,603	0	3,565,603
雑収益			0
雑収益	4,931,774	4,715,406	216,368
雑収益計	4,931,774	4,715,406	216,368
経常収益計	217,491,377	202,049,079	15,442,298
(2) 経常費用			0
事業費			0
刊行費	11,920,727	13,503,222	▲1,582,495
委員会活動費	3,455,380	2,851,703	603,677
会議費	901,130	310,516	590,614
広報・渉外費	3,614,124	2,673,561	940,563
システム管理費	5,955,358	5,828,253	127,105
研修会運営費	1,847,732	1,849,934	▲2,202
電話相談事業	5,905,057	6,520,674	▲615,617
臨床心理講座運営費	1,743,711	1,627,577	116,134
災害支援活動費	864,430	229,906	634,524
ひきこもり家族会支援	2,729,006	2,310,966	418,040
S C 常勸化調査研究	2,948,435	3,069,873	▲121,438
ウクライナ関連支援事業	10,191,516	7,941,873	2,249,643
臨床心理士賠償責任保険関係費	25,191,502	24,813,888	377,614
事業費計	77,268,108	73,531,946	3,736,162
管理費			0
常任理事会	624,792	633,742	▲8,950
理事会	879,337	907,126	▲27,789
代議員会	1,762,750	29,290	1,733,460
団体会員会	812,998	510,090	302,908
事務局会議	151,750	228,477	▲76,727
事務委託費	1,579,740	1,258,616	321,124

正味財産増減計算書

2024年04月01日から 2025年03月31日まで

(単位：円)

科目	2024年度	2023年度	増減
施設費	19,512,127	19,479,006	33,121
人件費	51,832,646	47,482,160	4,350,486
通信費	5,201,420	5,591,094	▲389,674
印刷費	2,219,581	3,458,810	▲1,239,229
消耗品費	80,777	42,295	38,482
備品費	156,828	24,087	132,741
図書費	3,410	0	3,410
購読料	40,760	38,120	2,640
雑費	22,228	12,061	10,167
修繕費	7,942	0	7,942
リース料	1,553,200	969,540	583,660
接待交際費	126,777	0	126,777
選挙関係費支出	6,500	14,008,376	▲14,001,876
役員賠償保険料	157,500	0	157,500
損害保険料	57,760	0	57,760
租税公課	1,335,300	1,422,300	▲87,000
建物設備減価償却費	351,750	351,750	0
器具備品減価償却費	4,642,753	5,736,995	▲1,094,242
管理費計	93,120,626	102,183,935	▲9,063,309
経常費用計	170,388,734	175,715,881	▲5,327,147
評価損益等調整前当期経常増減額	47,102,643	26,333,198	20,769,445
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	47,102,643	26,333,198	20,769,445
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	47,102,643	26,333,198	20,769,445
当期一般正味財産増減額	47,102,643	26,333,198	20,769,445
一般正味財産期首残高	496,418,547	470,085,349	26,333,198
一般正味財産期末残高	543,521,190	496,418,547	47,102,643
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取国庫補助金	0	2,992,800	▲2,992,800
受取民間助成金	7,812,000	7,941,873	▲129,873
受取補助金等計	7,812,000	10,934,673	▲3,122,673
一般正味財産への振替額			0
一般正味財産への振替額	▲7,812,000	▲10,934,673	3,122,673
一般正味財産への振替額計	▲7,812,000	▲10,934,673	3,122,673
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	543,521,190	496,418,547	47,102,643

財産目録

2025年03月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	現金	士会事務所内金庫	運転資金 として
	普通預金		225,999
		みずほ銀行 本郷支店	運転資金 として
		PayPay銀行 本店営業部	運転資金 として
		西武信用金庫 本郷支店	運転資金 として
	定期預金		19,990,100
		みずほ銀行 本郷支店	運転資金 として
			100,000,000
	郵便振替預金		100,000,000
		東京貯金事務センター	運転資金 として
		通常貯金	運転資金 として
			14,411,644
			11,884,140
			2,527,504
	現金預金合計		390,409,314
その他流動資産	未収金	受託事業等の未収分	宝仙学園請求分等
			1,300,443
	その他流動資産合計		1,300,443
流動資産合計			391,709,757
(固定資産)			
特定資産	退職給付引当資産	みずほ銀行 本郷支店	退職給付引当金見合の引当資産として管理
	選挙関係引当金積立資産	みずほ銀行 本郷支店	選挙関係費に充当する資産として管理
	建物附属設備準備資産	みずほ銀行 本郷支店	附属施設を設置または改修するための資産として管理
	特別災害時支援引当資産	みずほ銀行 本郷支店	特別災害時支援金に充当する資産として管理
	特定資産合計		1,613,000
			7,000,000
			50,000,000
			76,000,000
			134,613,000
その他固定資産	建物附属設備	士会本郷事務所	建物附属設備の固定資産
	建物附属設備減価償却累計額		建物附属設備の減価償却費の累計額
	器具備品	士会本郷事務所	器具備品の固定資産
	器具備品減価償却累計額		器具備品の減価償却費の累計額
	敷金	士会本郷事務所	
	その他固定資産合計		5,250,000
			▲3,869,250
			30,857,510
			▲22,332,889
			8,982,400
			18,887,771
固定資産合計			153,500,771
資産合計			545,210,528
(流動負債)			
	未払金	ウクライナ関連支援事業等	ウクライナ関連支援事業の返還金の未払分等
	預り金		
	税預り金・所得税	士会職員等	源泉所得税
	税預り金・謝礼分	会員等	講師謝礼分
	税預り金・地方税	士会職員等	住民税
	流動負債合計		1,131,923
			557,415
			110,589
			309,526
			137,300
			1,689,338
負債合計			1,689,338
正味財産			543,521,190

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

この財務諸表は、「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 令和2年5月15日改正 内閣府公益認定等委員会）に準拠し作成している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物附属設備、器具備品は定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
退職給付引当資産	1,380,000	1,613,000	1,380,000	1,613,000
選挙関係引当金積立資産	3,500,000	3,500,000	0	7,000,000
建物附属設備準備資産	50,000,000	0	0	50,000,000
特別災害時支援引当資産	68,000,000	8,000,000	0	76,000,000
合 計	122,880,000	13,113,000	1,380,000	134,613,000

3. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	5,250,000	3,869,250	1,380,750
器具備品	30,857,510	22,332,889	8,524,621
合 計	36,107,510	26,202,139	9,905,371

4. 補助金等内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
ウクライナ避難民ピア支援員を活用した心理ケアと共助コミュニティの形成支援事業助成金	日本財団	0	7,812,000	7,812,000	0	指定正味財産

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
ウクライナ関連支援事業費計上による振替額	7,812,000
合計	7,812,000

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2. 引当金明細

引当金は設定していないため、該当なし。

収支計算書

2024年04月01日から2025年03月31日まで

(単位：円)

科目	2024年度 実績	2023年度 実績	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 会費収入			
会費収入	182,734,000	169,455,000	13,279,000
会費収入計	182,734,000	169,455,000	13,279,000
(2) 研修会事業収入			
研修会事業収入	8,156,000	6,466,000	1,690,000
研修会事業収入計	8,156,000	6,466,000	1,690,000
(3) 臨床心理講座事業収入			
臨床心理講座収入	8,745,000	8,774,000	▲29,000
臨床心理講座事業収入計	8,745,000	8,774,000	▲29,000
(4) 検索システム収入			
検索システム収入	1,547,000	1,704,000	▲157,000
検索システム収入計	1,547,000	1,704,000	▲157,000
(5) 補助金収入			
補助金収入	0	2,992,800	▲2,992,800
民間助成金収入	7,812,000	7,941,873	▲129,873
補助金収入計	7,812,000	10,934,673	▲3,122,673
(6) 業務受託収入			
電話相談事業収入	300,000	0	300,000
その他業務受託収入	3,265,603	0	3,265,603
業務受託収入計	3,565,603	0	3,565,603
(7) 雑収入			
雑収入	4,931,774	4,715,406	216,368
雑収入計	4,931,774	4,715,406	216,368
事業活動収入計	217,491,377	202,049,079	15,442,298
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出			
刊行費支出	11,920,727	13,503,222	▲1,582,495
委員会活動費支出	3,455,380	2,851,703	603,677
会議費支出	901,130	310,516	590,614
広報・渉外費支出	3,614,124	2,673,561	940,563
システム管理費支出	5,955,358	5,828,253	127,105
研修会運営費支出	1,847,732	1,849,934	▲2,202
電話相談事業費支出	5,905,057	6,520,674	▲615,617
臨床心理講座費支出	1,743,711	1,627,577	116,134
災害支援活動費支出	864,430	229,906	634,524
ひきこもり家族会支援支出	2,729,006	2,310,966	418,040
SC常勤化調査研究支出	2,948,435	3,069,873	▲121,438
ウクライナ関連支援事業支出	10,191,516	7,941,873	2,249,643
臨床心理士賠償責任保険関係費支出	25,191,502	24,813,888	377,614
事業費支出計	77,268,108	73,531,946	3,736,162
(2) 管理費支出			0
会議費支出			0
常任理事会支出	624,792	633,742	▲8,950
理事会支出	879,337	907,126	▲27,789
代議員会支出	1,762,750	29,290	1,733,460
団体会員会支出	812,998	510,090	302,908
事務局会議支出	151,750	228,477	▲76,727
会議費支出計	4,231,627	2,308,725	1,922,902
事務費支出			0
事務委託費支出	1,579,740	1,258,616	321,124
施設費支出	19,512,127	19,479,006	33,121
人件費支出	51,832,646	47,482,160	4,350,486
通信費支出	5,201,420	5,591,094	▲389,674
印刷費支出	2,219,581	3,458,810	▲1,239,229
消耗品費支出	80,777	42,295	38,482
備品費支出	156,828	24,087	132,741
図書費支出	3,410	0	3,410

収支計算書

2024年04月01日から2025年03月31日まで

(単位：円)

科目	2024年度 実績	2023年度 実績	増減
購読料支出	40,760	38,120	2,640
雑支出	22,228	12,061	10,167
修繕費支出	7,942	0	7,942
リース料支出	1,553,200	969,540	583,660
接待交際費支出	126,777	0	126,777
事務費支出計	82,337,436	78,355,789	3,981,647
選挙関係費支出			0
選挙関係費支出	6,500	14,008,376	▲14,001,876
選挙関係費支出計	6,500	14,008,376	▲14,001,876
保険関係費支出			
役員賠償保険料支出	157,500	0	157,500
損害保険料支出	57,760	0	57,760
保険関係費支出計	215,260	0	215,260
租税公課支出			0
租税公課支出	1,335,300	1,422,300	▲87,000
租税公課支出計	1,335,300	1,422,300	▲87,000
管理費支出計	88,126,123	96,095,190	▲7,969,067
事業活動支出計	165,394,231	169,627,136	▲4,232,905
事業活動収支差額	52,097,146	32,421,943	19,675,203
II 投資活動収支の部			0
1. 投資活動収入			0
(1) 特定資産取崩収入			0
退職給付引当資産取崩収入	1,380,000	2,432,000	▲1,052,000
選挙関係引当金積立資産取崩収入	0	14,000,000	▲14,000,000
特別災害時支援引当金取崩収入	0	5,000,000	▲5,000,000
特定資産取崩収入計	1,380,000	21,432,000	▲20,052,000
投資活動収入計	1,380,000	21,432,000	▲20,052,000
2. 投資活動支出			0
(1) 特定資産取得支出			0
退職給付引当資産取得支出	1,613,000	1,380,000	233,000
選挙関係引当金繰入支出	3,500,000	3,500,000	0
特別災害時支援引当金繰入支出	8,000,000	0	8,000,000
特定資産取得支出計	13,113,000	4,880,000	8,233,000
(2) 固定資産取得支出			0
器具備品購入支出	279,329	6,133,670	▲5,854,341
固定資産取得支出計	279,329	6,133,670	▲5,854,341
投資活動支出計	13,392,329	11,013,670	2,378,659
投資活動収支差額	▲12,012,329	10,418,330	▲22,430,659
III 財務活動収支の部			0
1. 財務活動収入			0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	40,084,817	42,840,273	▲2,755,456
前期繰越収支差額	349,935,602	307,095,329	42,840,273
次期繰越収支差額	390,020,419	349,935,602	40,084,817

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、仮受金、預り金を含めている。

なお、前期末および当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰り越し収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	357,039,953	390,409,314
未収金	0	1,300,443
合 計	357,039,953	391,709,757
未払金	5,669,626	1,131,923
仮受金	13,000	0
預り金	1,421,725	557,415
合 計	7,104,351	1,689,338
次期繰越収支差額	349,935,602	390,020,419

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本臨床心理士会

会 長 高 田 晃 様

一般社団法人日本臨床心理士会定款第25条第1項(5)並びに第40条第1項の規定に基づき、2024年度の事業報告及び決算について貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書及び帳簿等の関係書類を監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

2025年5月7日

一般社団法人日本臨床心理士会

監事

片岡 玲子 

監事

鶴 光代 

一般社団法人日本臨床心理士会 第5期前期 役員名簿

(役職別、五十音順)

会 長	高田 晃	宇部フロンティア大学
副 会 長	徳丸 享	立正大学
副 会 長	花村 温子	独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター
専務理事	奥村 茉莉子	一般社団法人日本臨床心理士会
常務理事	江口 昌克	国立大学法人静岡大学
常務理事	杉江 征	国立大学法人筑波大学
常務理事	野村 れいか	国立大学法人九州大学
理 事	青木 紀久代	白百合心理・社会福祉研究所
理 事	岩倉 拓	あざみ野心理オフィス
理 事	宇田川 一夫	東北福祉大学名誉教授
理 事	金子 周平	国立大学法人九州大学
理 事	川畑 直人	京都文教大学
理 事	倉光 修	放送大学名誉教授
理 事	小林 哲郎	神戸女学院大学名誉教授
理 事	富永 良喜	丹波教育事務所
理 事	野島 一彦	九州大学名誉教授
理 事	信田 さよ子	原宿カウンセリングセンター
理 事	平井 正三	御池心理療法センター
理 事	平野 学	平野カウンセリングオフィス
理 事	増井 武士	東亜大学大学院
理 事	山喜 高秀	志學館大学
監 事	片岡 玲子	立正大学
監 事	鶴 光代	淑徳大学

(2025年3月31日現在)

一般社団法人日本臨床心理士会 第5期 代議員名簿

全国区	伊藤 良子		北海道	飯田 昭人		静岡	平岡 篤武	
全国区	岩壁 茂		青森	関谷 道夫		愛知	中西 和紀	
全国区	岩倉 拓	理事	岩手	織田 信男		愛知	早川 すみ江	
全国区	内田 利広		宮城	宇田川一夫	理事	三重	志村 浩二	
全国区	江口 昌克	理事	秋田	佐々木 亮次		滋賀	菅野 道英	
全国区	大山 泰宏		山形	伊藤 洋子		京都	井上 嘉孝	
全国区	奥村 茉莉子	理事	福島	佐藤 佑貴		京都	小林 哲郎	理事
全国区	葛西 真記子		茨城	金丸 隆太		大阪	梨谷 竜也	
全国区	嘉嶋 領子		栃木	伊藤 幸子		大阪	吉川 征延	
全国区	片岡 玲子	監事	群馬	貴船 裕子		兵庫	春原 千夏	
全国区	金子 周平	理事	埼玉	須藤 明		兵庫	樋口 純一郎	
全国区	川畑 直人	理事	埼玉	花村 温子	理事	奈良	欠員	
全国区	北川 清一郎		千葉	野嶋 しのぶ		和歌山	森崎 雅好	
全国区	窪田 由紀		千葉	飛田野 剛		鳥取	林 美奈子	
全国区	倉光 修	理事	東京	伊藤 直樹		島根	高橋 悟	
全国区	黒田 美保		東京	小林 友也		岡山	進賀 友一	
全国区	沢宮 容子		東京	瀧口 俊子		広島	館野 一宏	
全国区	杉江 征	理事	東京	中村 留貴子		山口	高田 晃	理事
全国区	種市 康太郎		東京	淵上 奈緒子		徳島	小倉 正義	
全国区	鶴 光代	監事	東京	山崎 孝明		香川	豊島 佳津子	
全国区	徳丸 享	理事	東京	吉田 章子		愛媛	福岡 康馬	
全国区	富永 良喜	理事	神奈川	青木 紀久代	理事	高知	池 雅之	
全国区	野島 一彦	理事	神奈川	加藤 志ほ子		福岡	姫島 源太郎	
全国区	信田 さよ子	理事	神奈川	堀 恭子		福岡	吉岡 和子	
全国区	野村 れいか	理事	山梨	吉川 眞理		佐賀	徳永 剛志	
全国区	平井 正三	理事	長野	常田 修一		長崎	吉田 直樹	
全国区	平野 学	理事	新潟	小林 勇		熊本	江崎 百美子	
全国区	福島 哲夫		富山	大平 泰子		大分	小野 貴美子	
全国区	増井 武士	理事	石川	松本 圭		宮崎	今西 広嗣	
全国区	松本 拓真		福井	岸野 徹		鹿児島	山喜 高秀	理事
			岐阜	服部 信太郎		沖縄	平安 良次	

(2025年3月31日現在)